

沿線風景



極楽寺

浄土宗。山号は平岡山。院号は不断光院。寺伝では、行基(668-749)を開基とする。

奈良県コースの所要時間

約3時間

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄御所線「近鉄御所」駅から「猿目橋」バス停まで 3分

奈良県コースの距離

9.2km

終点から最寄駅までの所要時間

奈良交通バス「兵家」バス停から近鉄南大阪線「いわき」駅まで 4分

コースガイド

笛吹神社は、火雷神をまつる創建時期不明の神社。境内には、古来占いに用いたハハカ(ウワミズザクラ)があり、平安末期の献木と伝えられている。また、イチイガシの群生が、県の天然記念物に指定されている。

葛城山麓公園は、自然の地形を利用して造成された新庄町営のレクリエーション公園。緑と水がテーマ。

置恩寺は行基の創建で、文徳天皇(850~858)の勅願寺。国宝の十一面観音立像を蔵している。

二塚古墳は、全長60メートル、高さ10メートルの前方後円墳で、ほぼ北面している。三つの横穴式石室があるのはきわめて珍しい。築造は6世紀中頃と推定されている。

弥宮の公園は、防ため池・弥宮池中心にした公園4~5月にかけて堤防一面に色とどりの芝桜が咲乱れる。

葛城山ろく古代人の祈りが聞こえるみち

沿線風景

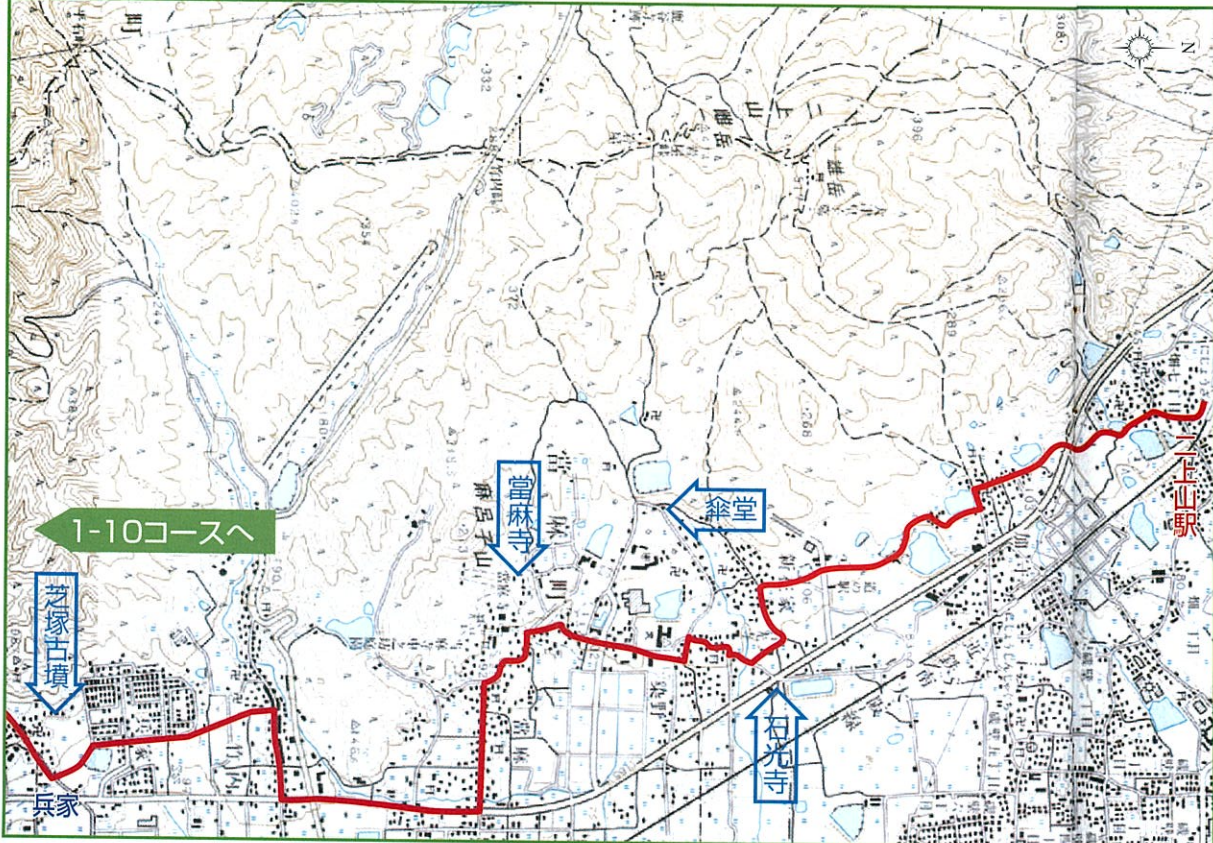
葛城山から岩橋山までの山裾をたどり、神社仏閣や古墳をめぐるコース。猿目橋は、葛城山の東の山裾にあり、ロープウェイを利用する場合の登山口。ここから終点の兵家まで、金剛山地の東側山裾の田園地帯を、多少の上り下りをしながらたどってゆくコースである。コース全体を通じて、東側に開ける大和平野や、大和三山等の展望が楽しめる。とりわけ、寺口集落の上部にある二塚古墳からの展望が良い。途中、笛吹・平岡・寺口等の集落を通りながら、それらの中にある神社仏閣をつないでいくことになる。最後は當麻町域に入り、漕漕用溜池を改良された弥宮の丘公園あり、堤防全体に植えられたシバザクラはみごとである。そこからゆるやかな坂道を目的地・兵家へと下つてゆく。



當麻の里、 白鳳ロマンのみち

沿線風景

数々の国宝や重文を有する當麻寺を中心
に、二上山の東側山裾をたどるコース。現代
的な兵家の集落を抜けると、歴史の文獻に
現れる最初の官道・竹内街道の名前のもと
になった竹内の集落。道の傍を水が流れる
勾配のある家並み特徴。次の集落が、當
麻寺のある當麻の集落。當麻寺は、二上山
をバックに、本堂（曼荼羅堂）・金堂・講堂・
鐘楼・東西の三重塔等、多数の建物や石造
物が立ち並ぶ。次の集落・新在家には、ボタ
ンの名所・石光寺や、高雄寺・傘堂等がある。
新在家からは、二上山ふるさと公園を通り、
いくつものため池を縫いながら、畑の集
落を経て近鉄二上山駅に着く。



沿線風景



當麻寺
當麻寺は、用明天皇の皇子
麻呂子王が、河内国交野に
建てた万法禪院に始まり、當
麻氏の氏寺として、天平期の
初頭ごろ、創建されたものと
されている。

奈良県コースの所要時間	起点までの最寄駅と所要時間
約1時間50分	奈良交通バス 近鉄南大阪線「いわき」駅から 「兵家」バス停まで4分
奈良県コースの距離	終点
5.4km	近鉄南大阪線「二上山」駅

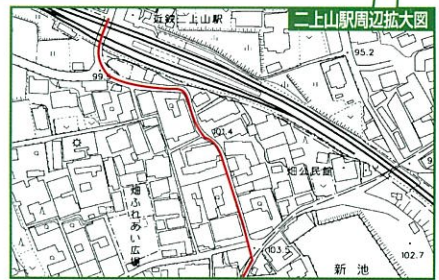
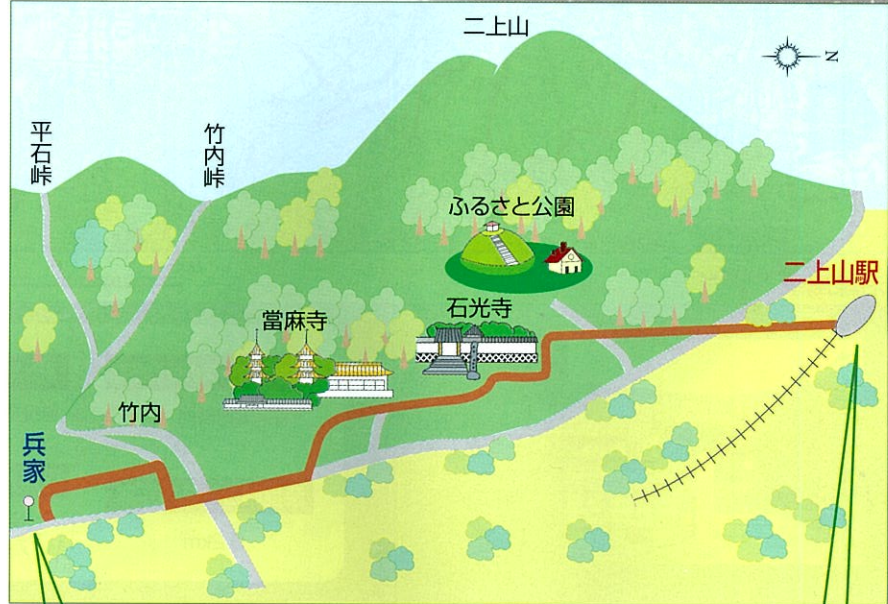
コースガイド

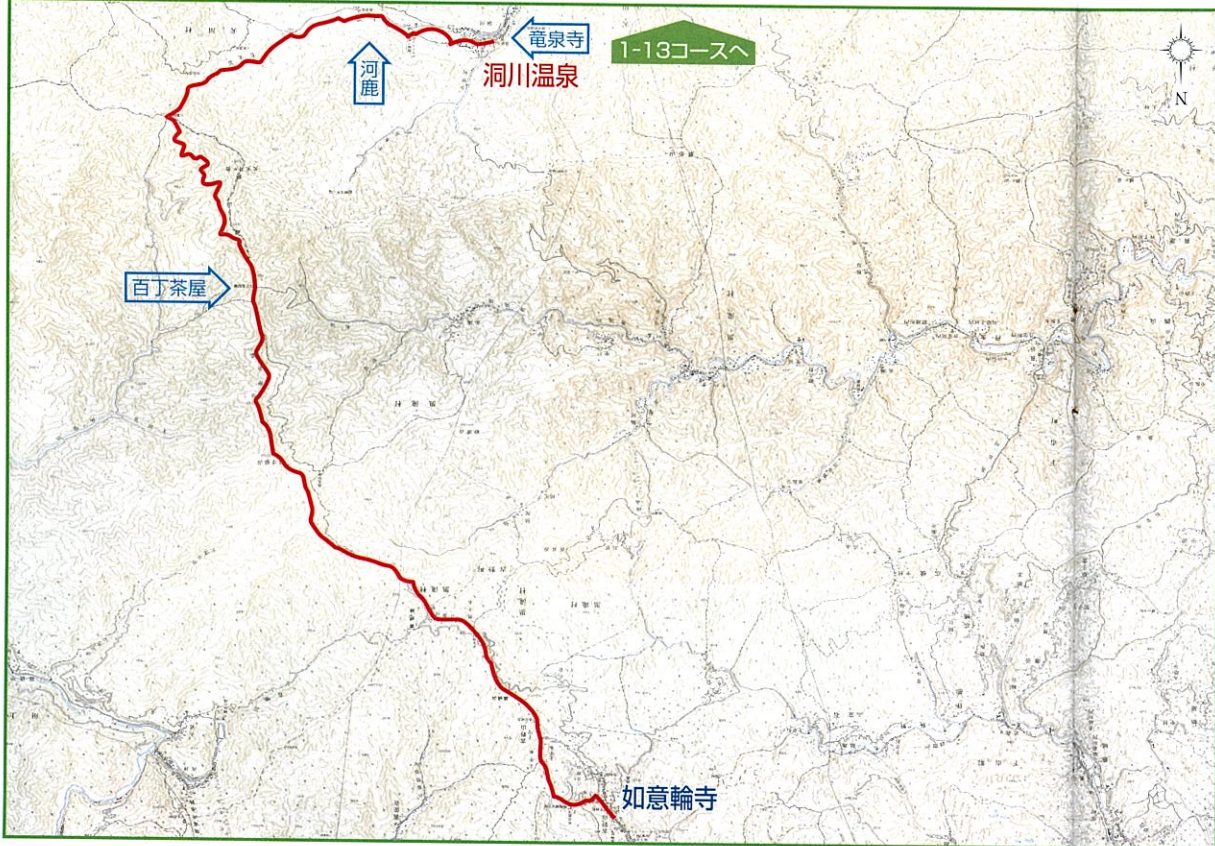
竹内街道は、難波の港から大和飛鳥の都までの間に開かれたと、『日本書紀』推古21年(613)に現れる最初の官道。沿道には、おびただしい古代遺跡、陵墓、社寺が続く。

當麻寺は、用明天皇の皇子・麻呂子親王が河内国(大阪府)に万藏院院という寺を営んだのが草創で、親王の孫・當麻国見が現在地に移したものと伝えられる。本堂の本尊は中将姫が織りあげたと伝える曼荼羅図。金堂の本尊は塑像の弥勒仏。境内の建物や石造物は、国宝や重文が多い。4~5月はボタンの花が見頃。

石光寺は當麻寺の1キロ北にあり、中将姫伝説の井戸がある。寒ボタンの名所として有名。見頃は、12~2月。

二上山ふるさと公園は、當麻町當のクリエーション園。456段のつづぬ石段のは、大和平野の展望台。





沿線風景



水分神社

子守の民家がおわるところにあり、水の分配を司る、天之水分大神を主神としています。"みくまり"が"御子守"となまって俗に子守さんと呼ばれ、子宝の神として信仰されています。

奈良県コースの所要時間

約17時間

起点までの最寄駅と所要時間

近畿日本鉄道吉野線
「吉野」駅より徒歩1時間

奈良県コースの距離

16.8km

終点

奈良交通バス「洞川温泉」バス停から
近鉄吉野線「下市口」駅まで1時間30分

コースガイド

吉野水分神社は、水の配分という意味から農事平安を祈願する神社。桃山時代の建築。5月上旬のスランが見事。

金峯神社は、吉野山の総地主神をまつる。境内に義経隠れ塔がある。

百丁茶屋には山小屋があり、休憩ができる。

五番関から上(東南)は大峯山縦走路。女性は登れない。

洞川には自然研究路が整備されている。

環境省の名水百選に選ばれた洞川湧水群は、ごろごろ水・神泉洞・泉の森の三つから成っている。

洞川の母公堂は役行者の母をまつり、安産祈願で有名。

龍泉寺は役行者の開いた寺で、清らかな水をたたえた水ごもりの行場である。

吉野古道修験のみち

沿線風景

吉野山から山上ヶ岳へ向かう修験の道(吉野古道)をたどるコース。如意輪寺を出発、水分神社、金峯神社等由緒ある神社を過ぎて、広い林道を進む。途中から山道に入る。吉野古道は稜線上をたどっており、自然林(落葉樹林)の中を進むため、樹林の風景は季節の変化に富み、美しい。途中、展望のすぐれた箇所が点在する。四寸岩山を過ぎると、修行場が現れ、古道の雰囲気を感じ上げる。五番関には女人結界の門や祠があり、ここから洞川へ向かって、杉林の中を下る。洞川に流れこむ山上川は、水が澄み水辺の景観も美しい。洞川にはカルスト地形があり、鍾乳洞が点在している。



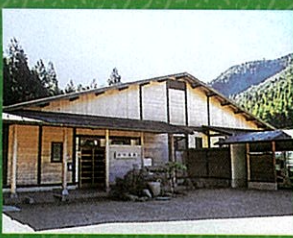


沿線風景

みたらい溪谷をめぐらるみち

大峯山系の北西部を流れる山上川や天ノ川の溪谷をめぐるコース。洞川から天川まで、すでに「みたらい遊歩道」として整備されており、歩きやすい。洞川を出発すると、しばらくは杉林の中を歩く。一度県道に出て、再び遊歩道に入るが、ここからみたらい溪谷の核心部となる。澄んだ水や巨岩、奇岩に植物が四季の変化を加え、とくに秋の紅葉期は美しい。途中、みたらい滝と光の滝が、アクセントをつけている。一旦国道に出、すぐに川迫川を渡って天ノ川左岸を歩く。発電所前で遊歩道は終わり、あとは水田の舗装道路を天川まで歩く。

沿線風景



洞川温泉
大峯千年湯。
☎0747-64-0800
午前11時～午後8時
水曜定休

奈良県コースの所要時間

約3時間30分

起点までの最寄駅と所要時間

奈良交通バス 近鉄吉野線「下市口」駅から「洞川」バス停まで 1時間30分

奈良県コースの距離

6.9km

終点

奈良交通バス「天川川合」バス停から「天川川合」バス停まで 1時間20分

コースガイド

- 洞川は大峯登山の拠点であり、温泉旅館が多い。天川村営の洞川温泉センターがある。
- みたらい溪谷に沿って整備されている遊歩道は、直接水に触れられるようにつくられている。
- 溪谷にはふたつの吊橋がかかっている。
- 天ノ川左岸の遊歩道には、途中高いところに展望台が設けられており、展望が良い。
- 終温の夕景の天川付近も泉地であり、村営天ノ川温泉センターがある。

